

第2回 不登校対策セミナー

不登校児童生徒・保護者への支援とサポート

～不登校などの子どもの課題を多様な観点から、より深く理解する～



日時 平成31年6月13日(木)
10:00～11:45(予定)

場所 米子市福祉保健センター
(ふれあいの里)

タッピングセラピー(TFT) 米国SAMHSA公認
不登校カウンセリング・セラピー

「クローバー」代表 西村 明倫

一般社団法人
日本TFT協会診断レベルセラピスト
メンタル心理カウンセラー
ハートマス呼吸法トレーニングコーチ



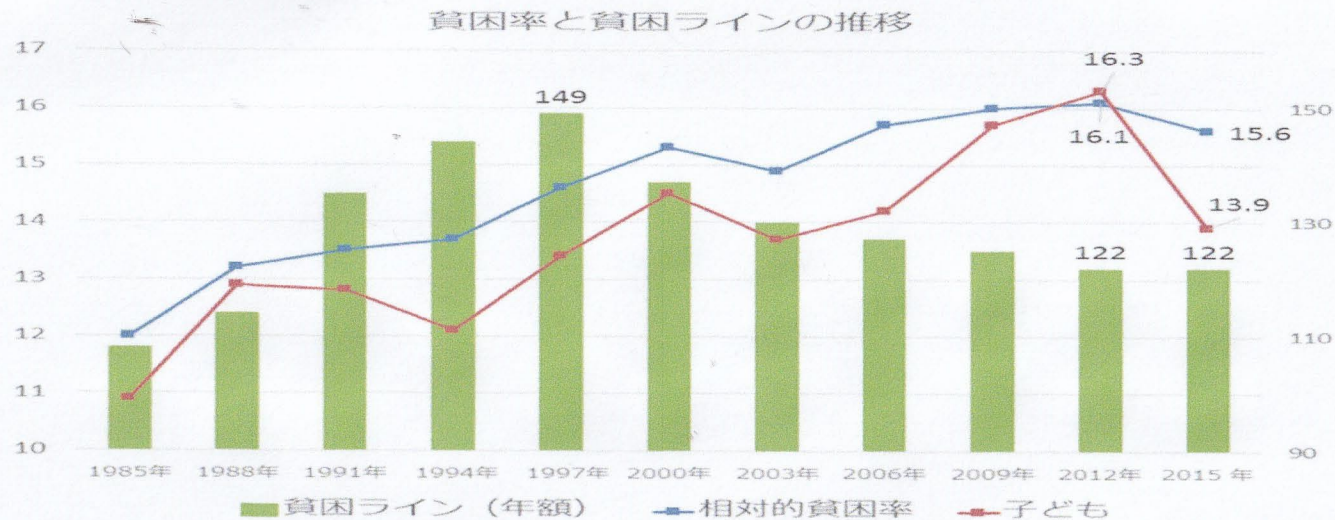
不登校等と貧困率について(1)

□ 相対的貧困率について

★「国民生活基本調査」厚生労働省 2015 より

○貧困率 = 貧困ライン*(貧困線)以下の人の割合 = 母子世帯に多い

○ひとり親家庭の貧困率 = 50.8% (2010年)



* 貧困ライン = 等価可処分所得 (収入から税金や社会保険料等を引いた可処分所得を世帯人数の平方根で割って算出した金額)の中央値の1/2

* OECD34ヶ国のひとり親の貧困率の平均は31.0%、日本は34ヶ国中33番目に低い
平成26年度版「子ども・若者白書(全体版)」内閣府 より

* 2013.6 「子どもの貧困対策の推進に関する法律(子どもの貧困対策法)」が参議院本会議で成立

自己肯定感の本質とは、何か？

□ 自己肯定感の定義について(重要)

○○○に「自分は生きている価値がある」

○○○に「自分は他から必要とされている」

…という確固とした、ゆるぎない実感



□ 相対的なものは、自己肯定感にはなり得えない！

○一般の人たちにとって、…

- 友だちが多い
- 容姿がいい(カッコいい)
- 運動技能
- 能力
- 社会的地位
- 経済力
- 人気、名誉

など



○子どもたちにとって、…

- テストの得点
- 高性能のスマホを持っている
- 児童・生徒会の役員
- 部活のキャプテン
- 進学高校・著名大学に通っている
- 走るのが速い
- ピアノが上手

など

プラクティスタイム1 (研修会用)

自己肯定感を高める言葉かけについて

□ ステップ1 「心温まる言葉かけ」のコツ(重要)

②ほめる・認める(重要)

- 結果ではなく、○○○○を評価する = 子どもの内面を評価する
- ことをほめる
- 「あなたには、～する○があるね」(最強のツール)

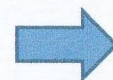
※同じことを何度もほめない → 意味が変化



□ ステップ3 肯定話法(重要!)

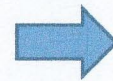
✿ ポジティブ思考にギアチェンジ!

Q1 「早くして!」



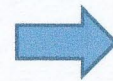
「さあ、行こうか」

Q2 「片付けなさい!」



?

Q3 「何度言ったら分かるの?」



?

自己肯定感を高める「○○○○共感」(1)

□ 「○○○○共感」に取り組むと、…?

- 自己肯定感の向上
- 安全・安心を感じられる空間
- 親子の愛着関係の安定化



自尊欲求のアップ

□ 「○○○○共感」のポイントとコツ(最重要)

- ・子どもの心に寄り添う、子どもと同じ気持ちを感じる
- ・「へー」、「そうなの」、「なるほど」、「あー、そうなの」と共感
- ・○○、表情、体を前に乗り出す



□ 「○○○○共感」の3つの「ない」原則とは、…?(重要)

- ・親の価値観、○○○○○○をもち込まない
- ・○○○○○○を話して、子どもを動かそうとしない
- ・○○しようとし~~ない~~ = ○○できなくてもよい

+ ○○を否定しない

+ 子どもの○○○に深く入りこまない